

# 税関における水際取締りの取組状況

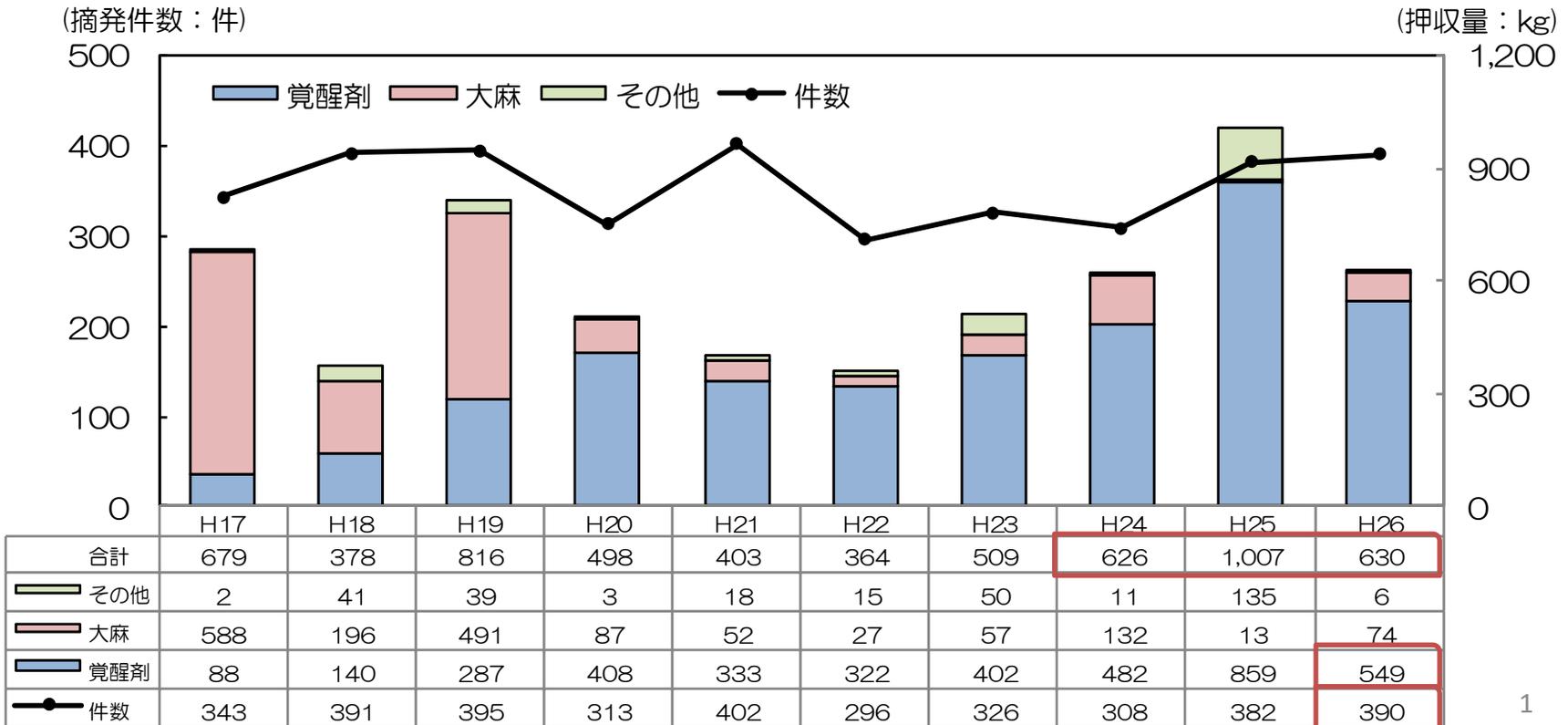
平成27年9月18日

財務省関税局

# 不正薬物全体の摘発状況

- 摘発件数は390件と微増
- 押収量は3年連続で600kg超
- 覚醒剤が全体の押収量の約9割

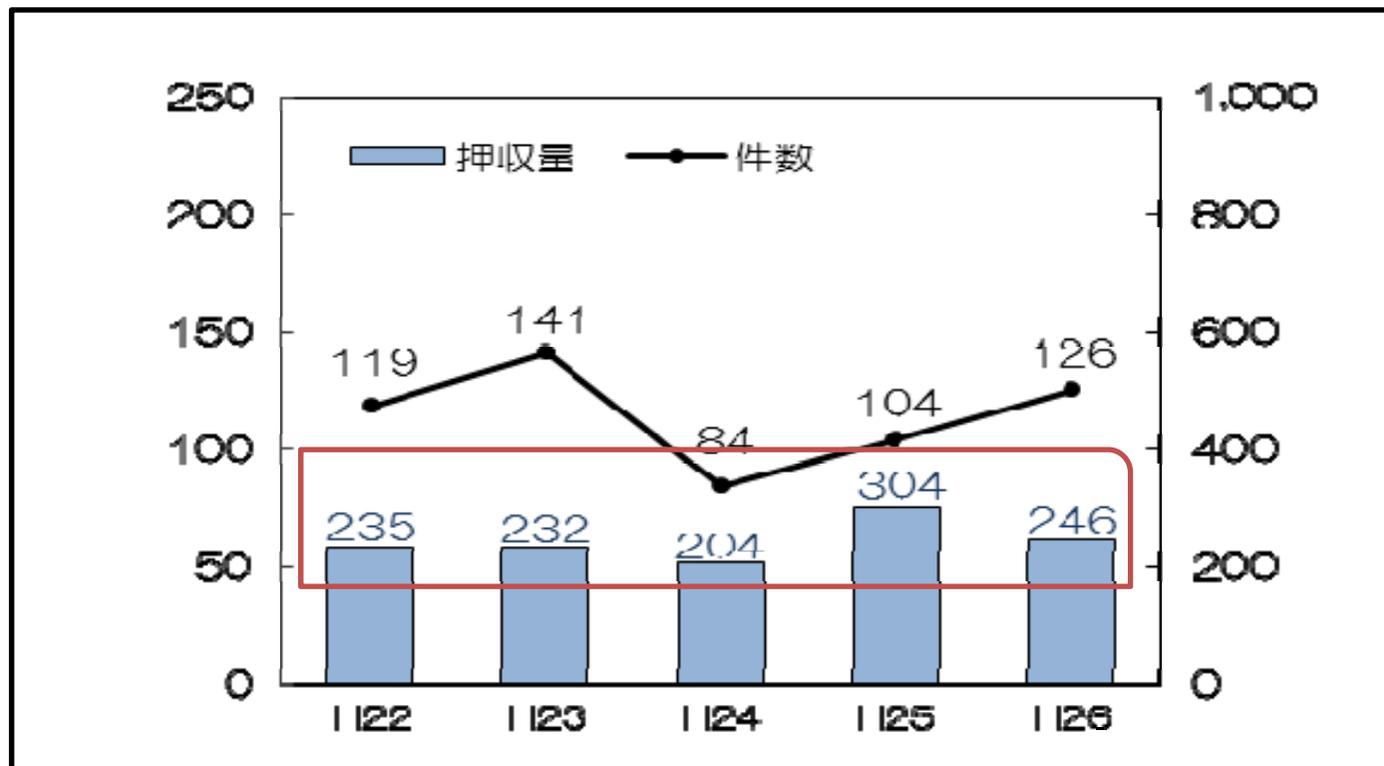
不正薬物の摘発件数と押収量の推移



## 航空機旅客による覚醒剤の摘発状況

- 航空機旅客による密輸入の摘発が全体の約7割
- 航空機旅客による密輸入の押収量は5年連続で200kg超

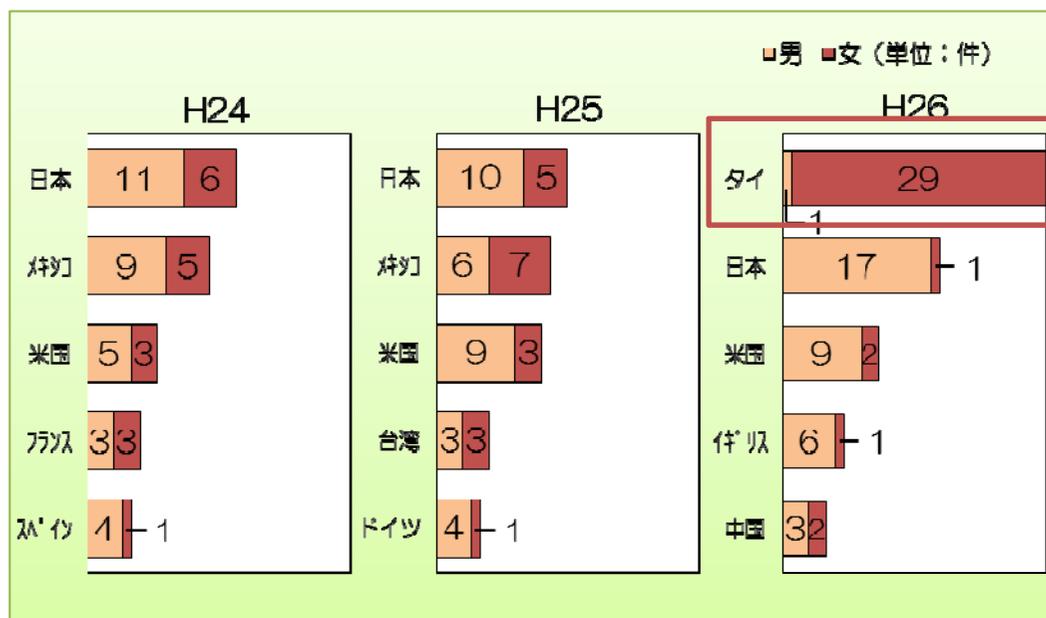
覚醒剤の摘発件数と押収量の推移(航空機旅客)



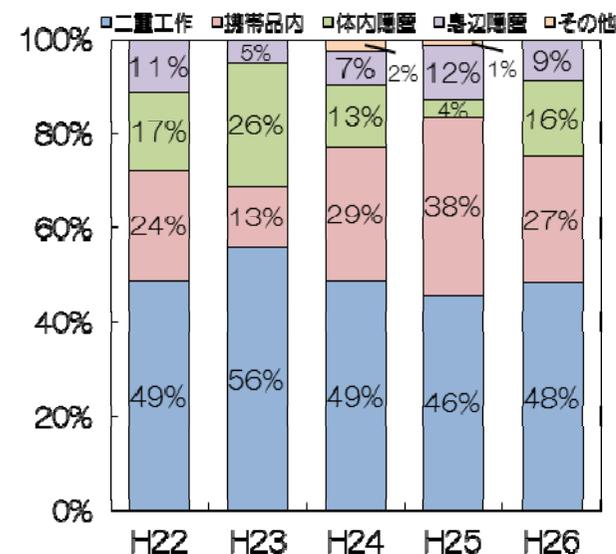
# 覚醒剤密輸入者(航空機旅客)の特徴

- 20～30代のタイ人女性による密輸入事犯が多発
- 隠匿手口としてはスーツケース等の二重工作が半数

< 性別・国籍別摘発件数の推移(上位5ヶ国) >



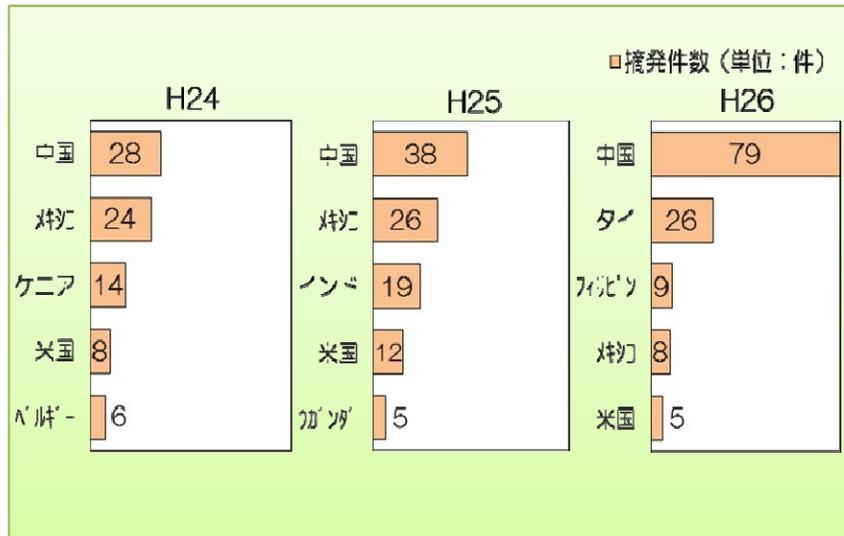
< 隠匿手口別構成比の推移 >



# 覚醒剤の密輸仕出地の特徴

- 中国からの密輸入が倍増
- メキシコと中国で押収量全体の約7割

< 仕出地別摘発件数の推移（上位5ヶ国） >



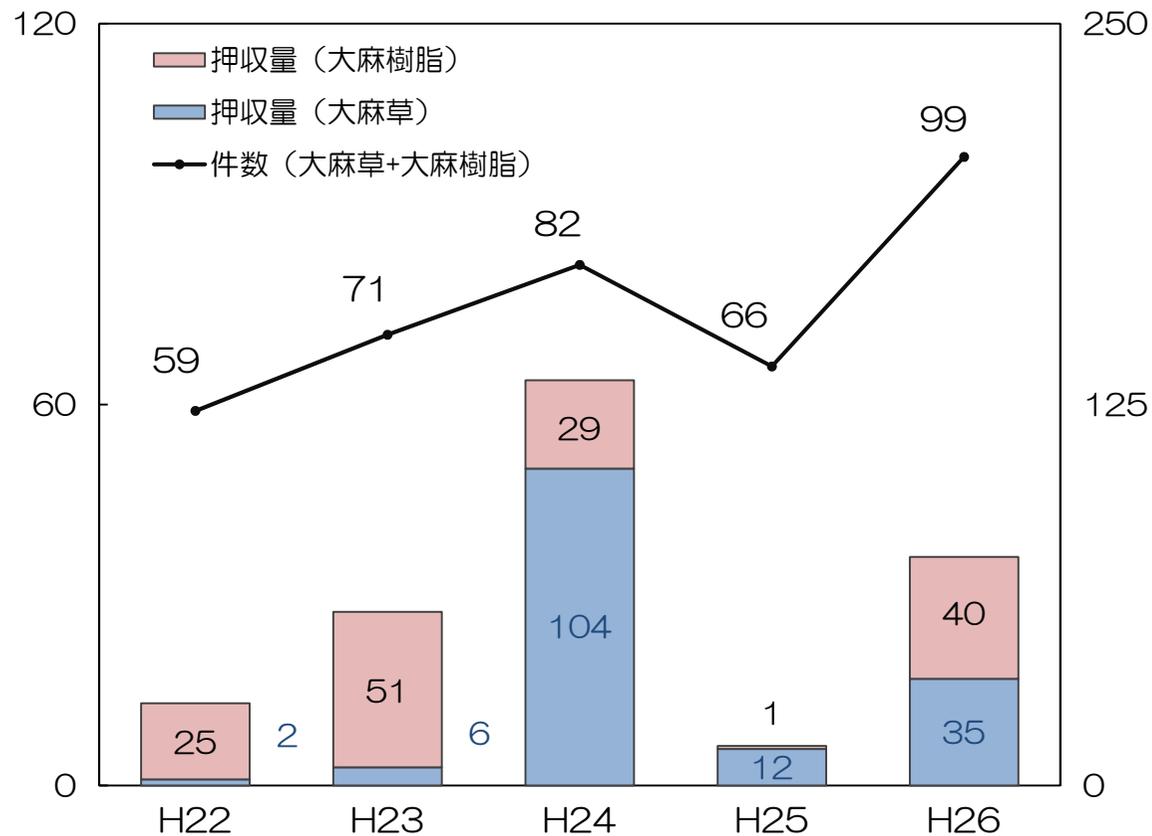
< 仕出地別押収量の推移（上位5ヶ国） >



# 大麻の摘発状況

- 件数、押収量ともに前年から増加
- 大麻製品の多様化

＜ 大麻の摘発件数と押収量の推移 ＞



# 関税法改正後(※)の指定薬物の摘発状況 ※平成27年4月及び5月

## 2か月間で覚醒剤や麻薬等の年間摘発件数を超過

- 本年4月、危険ドラッグの水際対策として、指定薬物を関税法上の「輸入してはならない貨物」に追加

### <関税法改正の効果>

- ①違法指定薬物を発見した場合、直ちに没収して廃棄が可能
- ②違法指定薬物の輸入の事実だけで税関が速やかに犯則調査に着手
- ③関税法上の重い罰則(10年以下の懲役・3千万円以下の罰金)が科される

- 関税法改正後(本年4~5月)における指定薬物の摘発状況

密輸形態		仕出国	中 国	イギリス	チ ェ コ	米 国	そ の 他	合 計
国 際 郵 便 物	摘発件数 (件)		429	16	16	4	13	478
	押収量 (g)		6,806	539	511	119	266	8,241
航 空 貨 物	摘発件数 (件)		0	0	0	1	0	1
	押収量 (g)		0	0	0	14	0	14
合 計	摘発件数 (件)		429	16	16	5	13	479
	押収量 (g)		6,806	539	511	133	266	8,255

(注1)数値は速報値

(注2)押収量は、重量未確定のものを含む推計値(液体は概算重量に換算して計上)

(注3)中国には香港を含む

